

東南アジアの自然と農業研究会

第 102 回研究例会のご案内

第 102 回定例研究会を開催いたします。今回は、京都大学人間・環境学研究科の酒井 章子氏に下記のように報告していただきます。皆様の多数のご参加と活発な討論を期待してお待ちしております。

記

日 時： 2001 年 10 月 19 日（金）午後 4 時～午後 6 時
会 場： 東南アジア研究センター 東棟 2 階第 1 教室
京都市左京区吉田下阿達町 46
川端通り荒神橋東詰め

話題提供者： 酒井 章子 氏

話 題： 「東南アジアのフタバガキ林における一斉開花現象：

サラワク林冠生物学研究の成果」

要 旨： 東南アジアの非季節性低地フタバガキ林では、数年に一度おこる「一斉開花」という現象が知られている。一斉開花がおこると、フタバガキを始め、多くの植物がつぎつぎと開花する。一斉開花のとき以外には開花はほとんどみられない。この興味深い現象については、ごく最近までほとんど調べられていなかった。一斉開花とはどのような現象なのか、なぜ、何をきっかけに一斉開花が起こり、生態系にどのような影響を及ぼすのか。マレーシア・サラワク州ランビル国立公園で 1992 年から始まったサラワク林冠生物学研究（CBPS）は、それらの問いに答えようと調査を続けてきた。その結果、一斉開花はいろいろな分類群・生活形の植物が参加する群集レベルの現象であること、花や実を利用する動物は、さまざまな方法で一斉開花に応答すること、などがわかってきた。この報告では、一斉開花に関する現在までの知見を、CBPS が明らかにしてきた一斉開花をめぐる植物と動物の相互作用を中心に紹介したい。

問い合わせ先： 富田晋介 京都大学農学研究科熱帯農業生態学研究室
Tel. 075-753-6352 <mailto:tomita@kais.kyoto-u.ac.jp>
柳澤雅之 京都大学東南アジア研究センター
Tel. 075-753-7345 <mailto:masa@cseas.kyoto-u.ac.jp>

ウェブサイト： 東南アジアの自然と農業研究会のホームページができました。これまでのこの研究会の歩みや第 100 回、第 101 回研究例会のレジュメ・スライド等がご覧いただけます。また、これからの研究会で配られるレジュメや発表時に使用されたスライド等も随時ホームページ上で公開していく予定ですので、参考にしていただけると幸いです。

URL: <http://rtomita.kais.kyoto-u.ac.jp/~sizen/>